

## 第8回附坂小わくわくワークショップ

# 算数授業の悩みを解決しよう！ ～主体的・対話的で深い学びのある算数授業を目指して～

---

香川大学教育学部 松島 充

香川大学教育学部附属坂出小学校 好井 佑馬

井下 修一

# 事前にいただいたご質問

---

- Q1 学力差の大きなクラスで算数を行う際の工夫
- Q2 自己調整学習
- Q3 単元導入での学習計画の作り方
- Q4 意欲的に取り組む課題作りや仕掛け作りの考え方
- Q5 見通しのもたせかた
- Q6 複数の解法が出た後のまとめ方、学びを深める教師の手立て
- Q7 児童が様々な自分の考えをいろいろな手段で表現できる授業をするためにはどうすればよいか
- Q8 他の考えを得る必要感のもたせ方
- Q9 ICT活用法
- Q10 1年生で自ら学び、気づきをもたせる工夫
- Q11 概数の以上、以下、未満の違いをどのようにして教えていくか。
- Q12 指導内容の進度と子供の理解度をどのように両立していくとよいか。

# 本日の予定

---

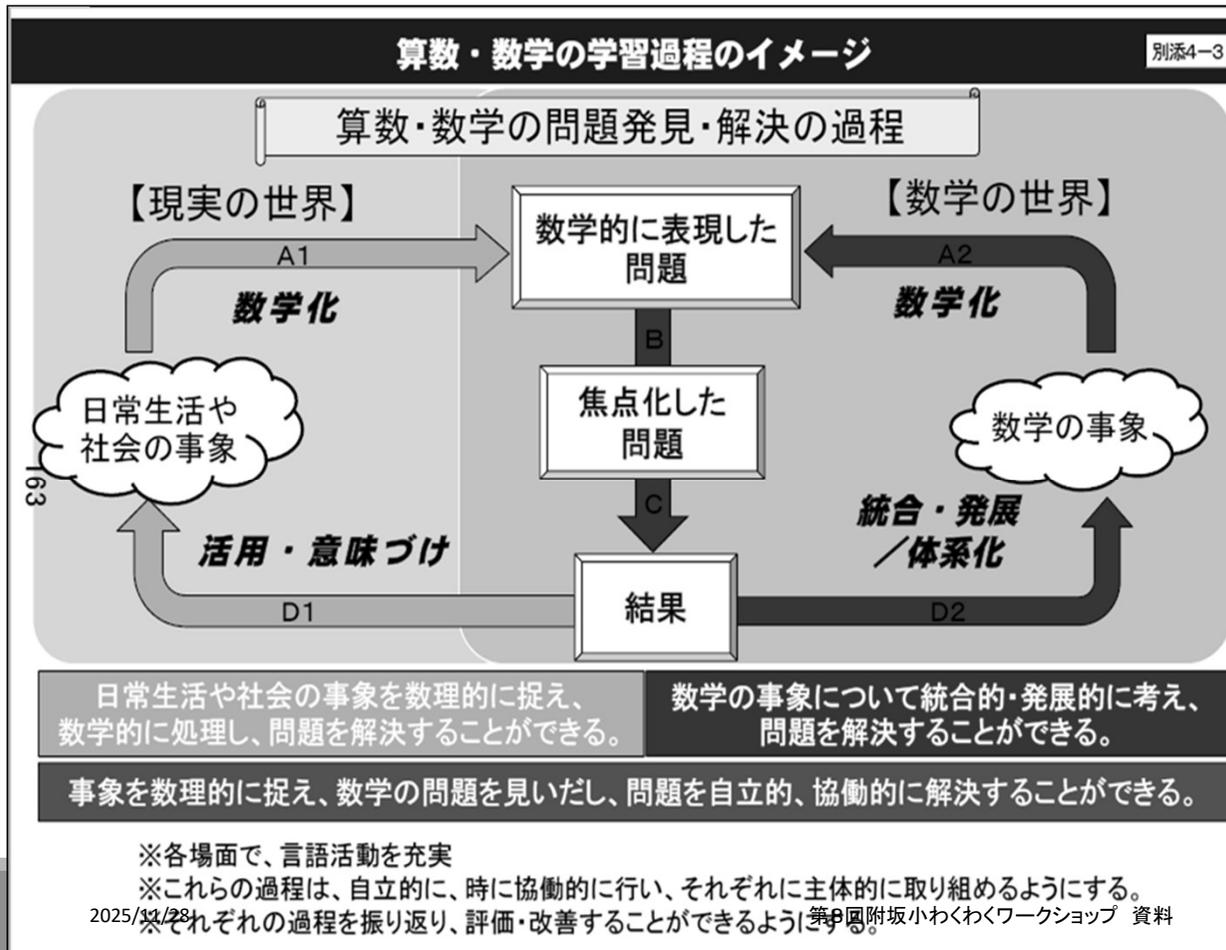
17:15 算数の授業の基本的な進め方 Part1 (40分)

17:55 休憩(10分)

18:05 算数の授業の基本的な進め方 Part2 (30分)

18:35 質疑応答(10分)

# 1 算数の授業の基本的な進め方



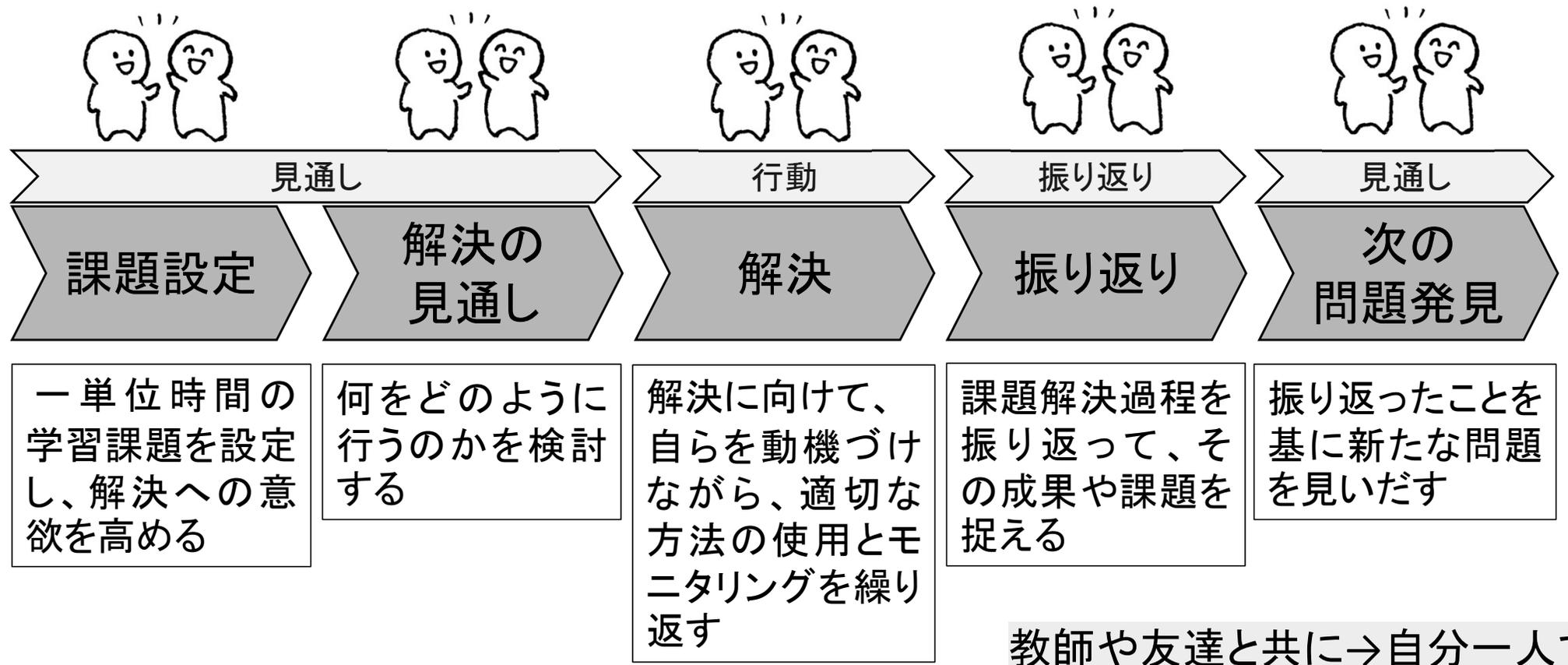
算数・数学の学習過程のイメージ  
(文部科学省、2018、p.8)

# 問題解決の授業の過程

簡潔版	詳細版
ア 問題をつかむ	① 問題の提示
	② 課題をつくる
イ 自力解決	③ 見通しをもつ
	④ 自力解決
ウ 集団解決	⑤ 解決の練り上げ(グループ)
	⑥ 解決の練り上げ(学級全体)
エ 振り返り	⑦ 適用問題 or 活用問題
	⑧ 振り返り

大切なのは、これらの過程ではなく、  
なぜこれらの過程が必要なのか？という意識

# 自己調整して学ぶ様相

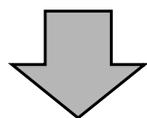


# 過程① 問題の提示

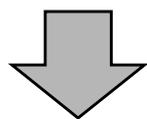
## 過程② 課題をつくる

---

生活 から  
既習の算数 から 問題を持ってくる

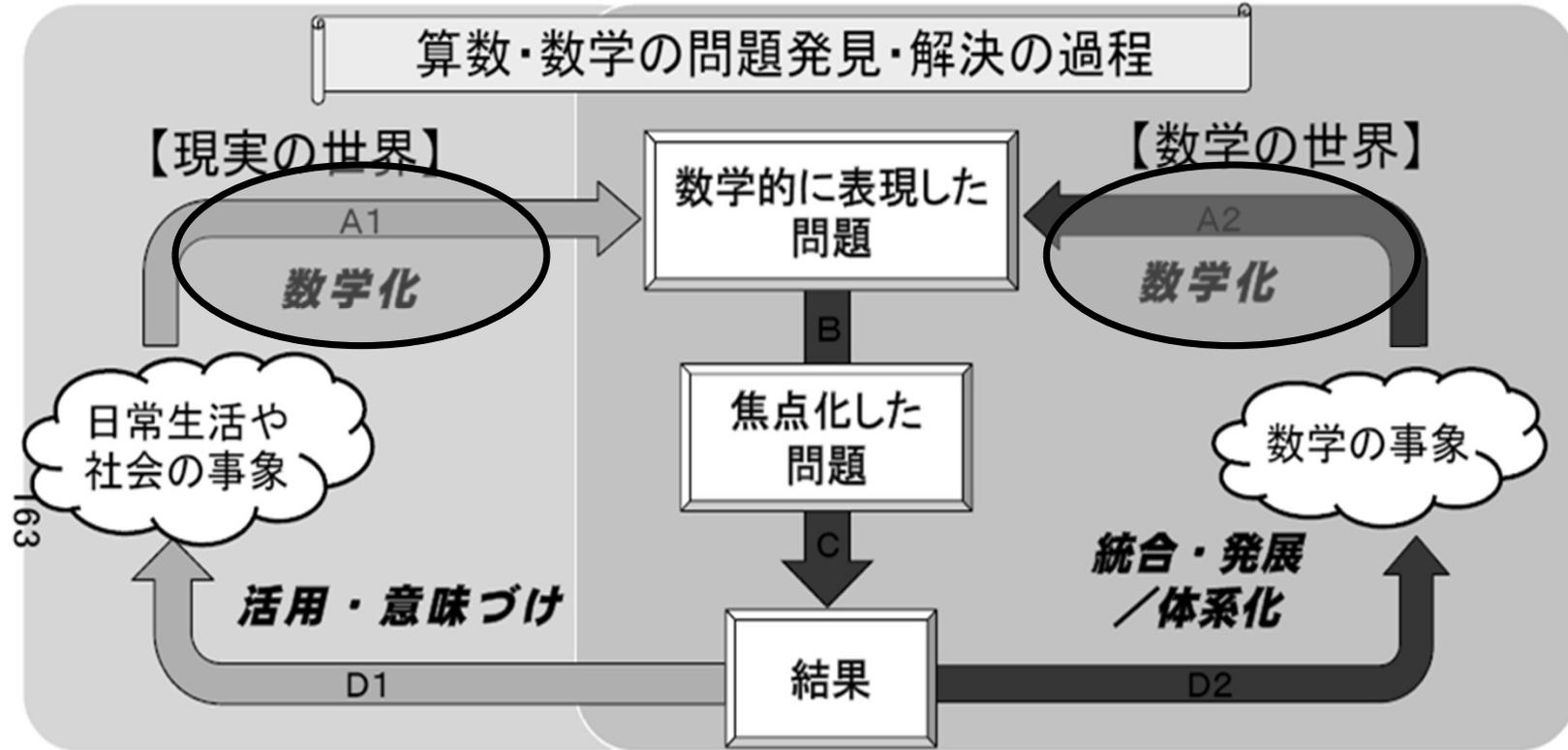


子どもの 興味・関心 が高まる



算数の 有用性 の実感へとつながる

数学化 or 1・2の3



日常生活や社会の事象を数理的に捉え、  
 数学的に処理し、問題を解決することができる。

数学の事象について統合的・発展的に考え、  
 問題を解決することができる。

事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決することができる。

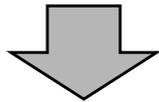
- ※各場面で、言語活動を充実
- ※これらの過程は、自立的に、時に協働的に行い、それぞれに主体的に取り組めるようにする。
- ※それぞれの過程を振り返り、評価・改善することができるようにする。

## 過程② 課題をつくる

---

教師が提示した問題に「問い」を感じる

「なんで?」、「どうして?」、「AとBなら, Aだよ・・・」



本時の課題を子どもたち自身が明確に持つ

「どうしてAなのか知りたい！」

「どうしてBなのか説明して分かってもらおう」

子ども自身の学習意欲の向上

# 数学の世界 ⇒ 算数の問題

## 1・2の3 の実例

---

①  $x^2 + 6x + 8 = 0$

$(x + 4)(x + 2) = 0$

②  $x^2 - 5x + 6 = 0$

$(x - 2)(x - 3) = 0$

③  $x^2 - 4x - 6 = 0$

???

因数分解できないときは  
どうすればよいのかな？

# 現実の世界 ⇒ 算数の問題 ドジャースの優勝パレード から

どんな算数の問題が  
できそうですか？

[https://abema.tv/video/episode/89-93\\_s27\\_p755?msocid=0b34e3a618766a300ab2f1cb19a46bfa](https://abema.tv/video/episode/89-93_s27_p755?msocid=0b34e3a618766a300ab2f1cb19a46bfa)



# 問題から課題をつくるには？

---

## 【教材研究】

本時の目標を明確にする

⇒ 子どもがたてる課題(本時のめあて)

⇒ 問題(教師が与えるもの)

この流れでの教材研究が重要

# 過程① 問題の提示

## 過程② 課題をつくる

第4学年「割合」

情報を不足  
させて

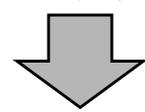
青のゴムひもは、もとの長さの4倍にのびます。  
赤のゴムひもは、もとの長さの3倍にのびます。  
のばしたときの長さはどちらが長くなりますか。

何に  
困っているの？

もとの長さが分からないと  
分からない  
??



青は10cm、赤は15cm



本当に？  
青は4倍なんだよ

④ 本当に赤の方が長くなるのか説明しよう。

# 過程① 問題の提示

# 過程② 課題をつくる

第2学年「かけ算(1)」

考えのずれを  
可視化する

どの式が  
正しいのか?

??



め 九九マスターしけんに、ちょうせんしよう!!

おかしのはこか、3はあります。  
1つのはこには  
おかしが5こずう入っています。  
おかしはぜんぶで何回でしょう。

もし、べつのお話だったら  
テープを4本つなぎます。  
テープ1本の長さは3cmです。  
ぜんぶで何cmでしょう。

お話しどおり  
→じゅんばんどおり  
いみどおり

5×3だと  
5はこになる?

3×5=3+3+3+3+3  
5×3=5+5+5

1つの中に5つ入っている

15こ

もし、べつのお話だったら  
4+4+4  
3cm+3cm+3cm+3cm=12cm  
いみどおり!!  
せいかく

3cmが4つ分  
12cm

かけ算  
同じ数ずつのものが、  
なんこ分あるとき  
ぜんぶの数をもとめるけい算

しき  $3 \times 5 = 15$   
しき  $3 \times 4 = 12$

ことば  
ことば  
ことば

見とおし  
ず  
しき  
ことば

かけ算のおつき  
<分しんのじゅつ>  
 $3 \times 5 = 3 + 3 + 3 + 3 + 3$   
上のまよりが5つ  
かけ算のたし算

3cm 3cm 3cm 3cm

つないで考えると  
せいかく

# 過程② 課題をつくる

第2学年「三角形と四角形」

## 学習計画

形モンスターずかんをもっとパワーアップさせよう!

形モンスターをせいかくになかま分けする力  
分けたりゆづを せつめいする力

9月

かいた形モンスターも、なかま分けできるかな?

形モンスターずかんを パワーアップさせよう!

スタート

正しく仲間分けして  
図鑑に形モンスターを  
もっと増やしたい!

## 形モンスター図鑑の 一部

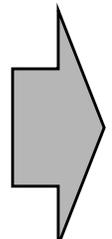
**四角形** 4本のちよく線でかこまれている形

ちよう点→4つ 辺→4本

**長方形** かどがみんな直角になっている四角形  
むかいあう2つの辺の長さは同じ

**正方形** かどがみんな直角で、  
辺の長さがみんな同じ四角形

単元目標の  
達成に向けて



学習課題 合体進化した形モンスターも仲間分けできるかな?

# 過程② 課題をつくる

第4学年「2桁でわるわり算の筆算」

単元で目指すことを設定する

この学習を通して、  
どうなりたい？

どんな問題が考えられるの？

これまでの学習経験を基に

10/16 ①め おりが出る場合の計算の(仕方を考えよう)

30 × 1 = 30  
30 × 2 = 60 < 80  
30 × 3 = 90 > 80  
商の見当をつける

80 ÷ 30 = 2 あまり 20

なぜ 2 の? 10倍

30 × 2 = 60, 60 + 20 = 80

たし算

10 10 10 10 10 10 10 10

わり算の-1位が0でない場合は?  
わり算の  
筆算(わられる数の1けたを被り  
わり切れない場合は?)

わり算が2けたのどんな問題でも(10時間)  
はやく正解していけるようになる

# 本時の目標 の書き方(例)

本時の本質

〇〇の活動を通して、△△に気付き、□□することができる。

〇〇・・・数学的活動

△△・・・子どもに気付かせたいこと ≡ 本時の本質

□□・・・目で見て、耳で聞いてわかる子どもの言動 ⇒ 行動目標

⇒ 目指すべき子どもの姿 ≡ 評価対象

本時の目標に、評価すべき子どもの姿を組み込む

# 過程③ 見通しをもつ

---

## ③-1 : 方法の見通し

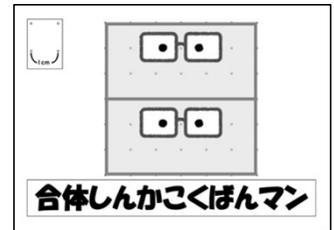
- ・本時の課題への取り組みを助ける
- ・すべての子どもの既有知識の活性化
  - ⇒ Scaffolding(足場架け)

## ③-2 : 結果の見通し

- ・主体的な学び・対話的な学びの原動力として予想や比較を取り入れる
- ・子どもの心の安定のために

# 過程③ 見通しをもつ

第2学年「三角形と四角形」

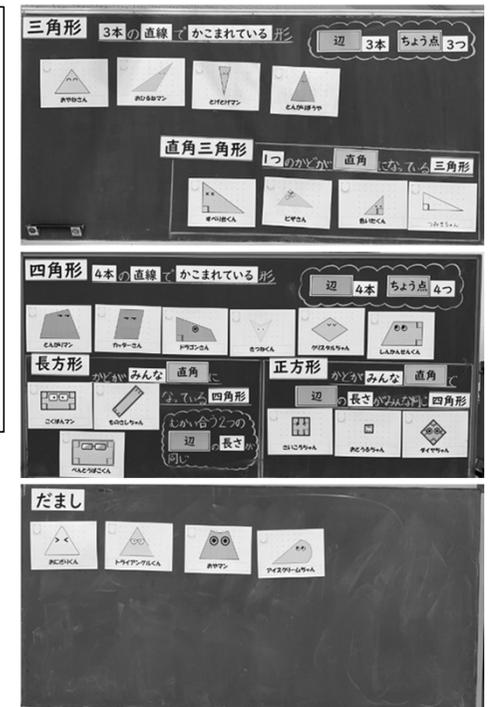


算数アイテム  
→ 数学的な表現

形センサー  
→ 数学的な見方  
(図形の構成要素)



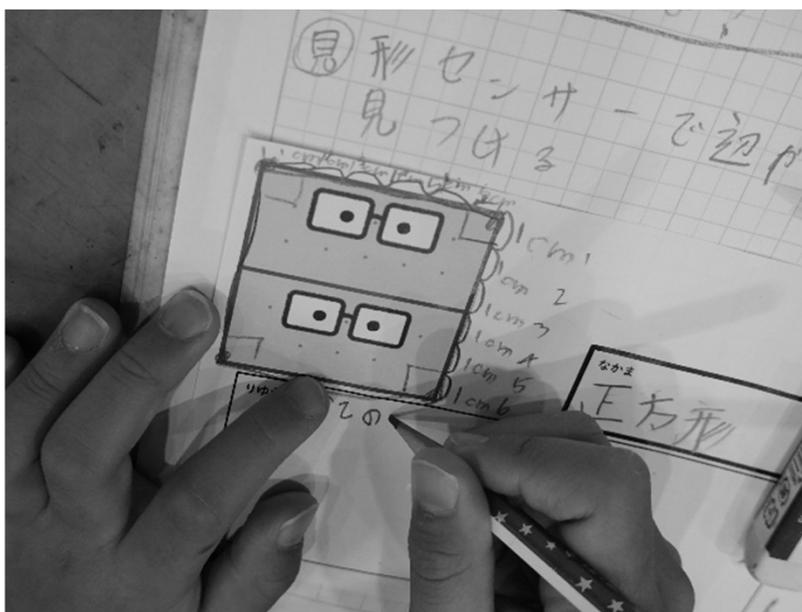
学習計画・補助黒板  
→ 既習の振り返り



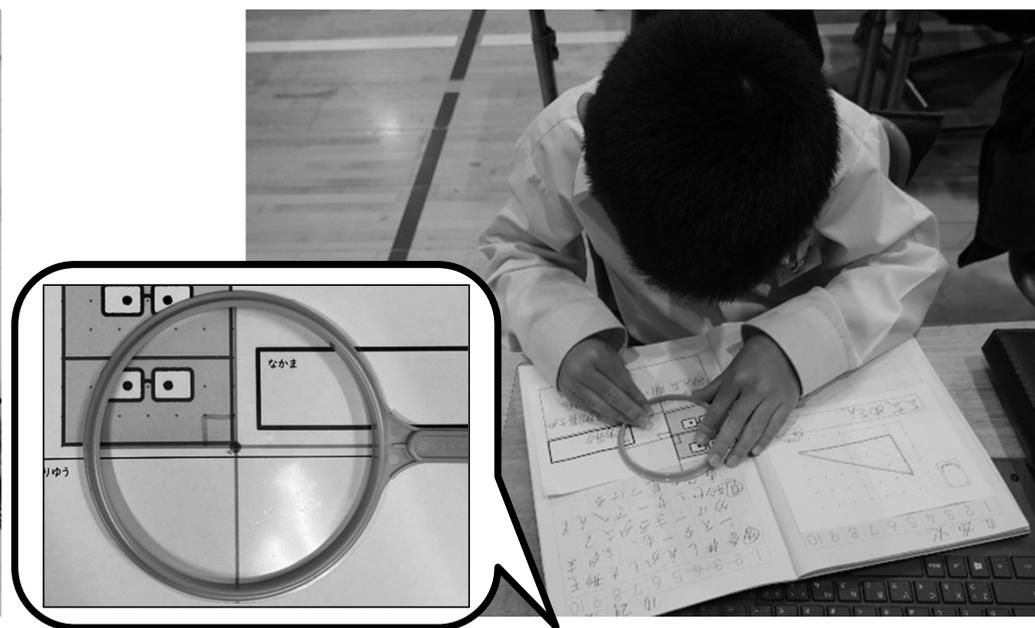


# 過程④ 自力解決

第2学年「三角形と四角形」



ワークシートへの記述による  
思考の可視化

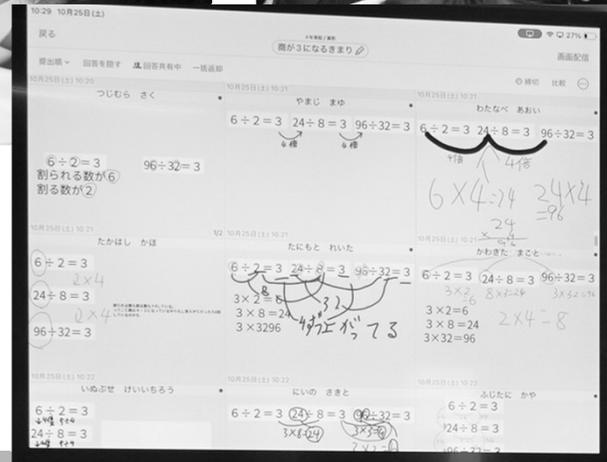


形センサーを使った  
着眼点の可視化

# 過程④ 自力解決



一人で



友達や先生と



# 過程④ 自力解決

---

教師の指導 ⇒ 机間指導

## 机間指導の意義

1: 個別指導で形成的評価を行う

2: 学級全体での練り上げの指導計画の想定

練り上げの時間までに、  
自分の考えを持つ  
○答えでなくてもよい  
○途中まででよい

# 机間指導における形成的評価

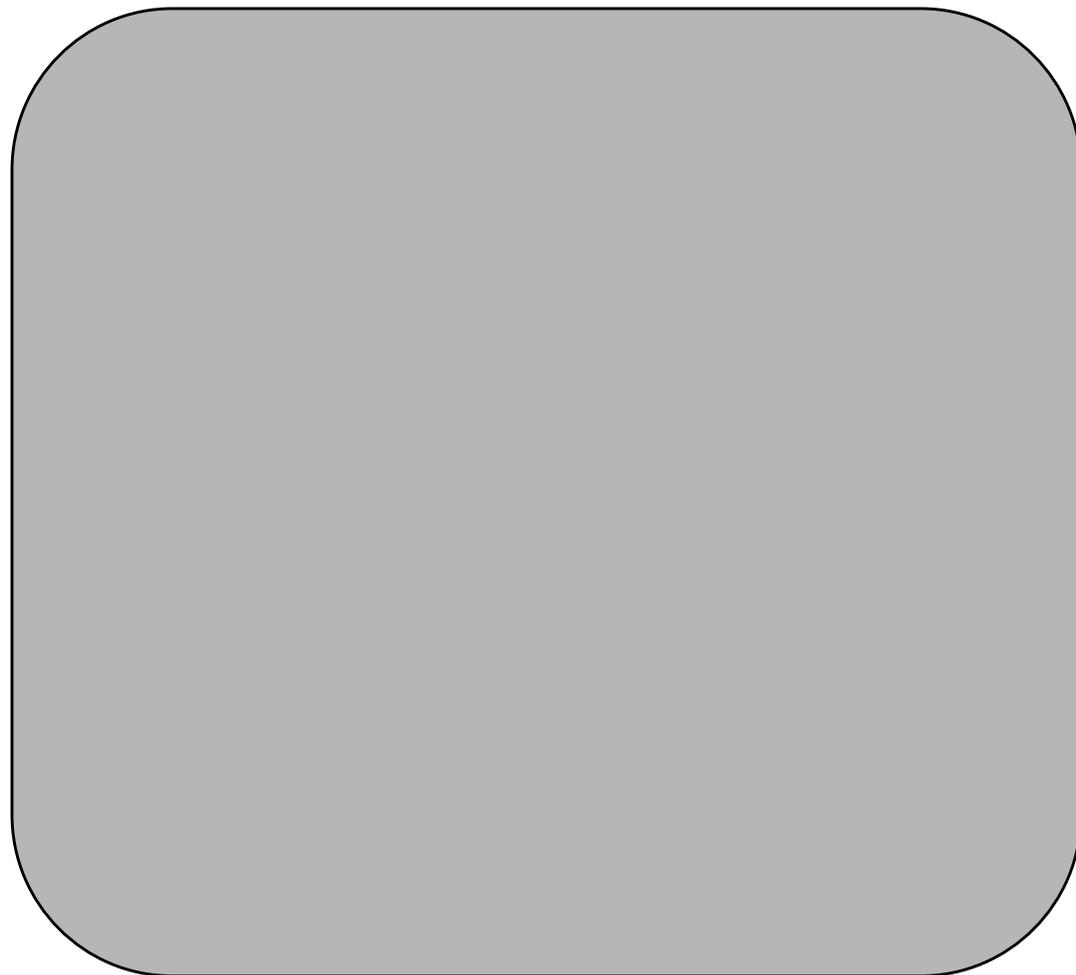
---

- ① 授業前に本時の問題に対する子どもの予想される反応をできるだけ数多く考えておく。
- ② 本時の目標を基に、評価基準をつくる
- ③ 評価C ⇒ 評価B となる具体的な声かけ  
評価B ⇒ 評価A となる具体的な声かけ  
評価A の子どもへの具体的な声かけ
- ④ 1人3秒以内, 3分間で教室2周が目標

# 机間指導体験

---

線分OAの長さを  $a$  とするとき、  
線分ABの長さを求めよ。



# 机間指導しながら感じる・・・

---

1: 答えを持った子が多い ⇒ 飽きてきた

- ・自力解決の時間を短く切り上げる
- ・もう1問設定する
- ・答えに至る数学的本質について問う

自力解決の時間を設定



自力解決時の空気

2: 全然わからない多数 ⇒ ボーッ or ざわざわ

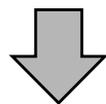
- ・分からない子を集めて個別指導
- ・全体でもう一度例題をやってから、再び自力解決

# 自力解決での机間指導

2: 学級全体での

練り上げの指導計画の想定

- ・Aくんは, ○○の考え
- ・Bさんは, ◇◇の考え



どのような順番で全体で発表させ,

個別の考えをどのように関連付けて,

数学的本質(本時の目標)に迫っていくか?

子どもたちに,  
どのような視点を与えると関連付く?

## 過程⑤⑥ 解決の練り上げ(グループ・学級全体)

練り上げの 方向性は、たった1つ

〇〇の活動を通して、 $\Delta\Delta$ に気づき、  
□□することができる。

〇〇・・・数学的活動

$\Delta\Delta$ ・・・子どもに気付かせたいこと、 $\equiv$  本時の本質

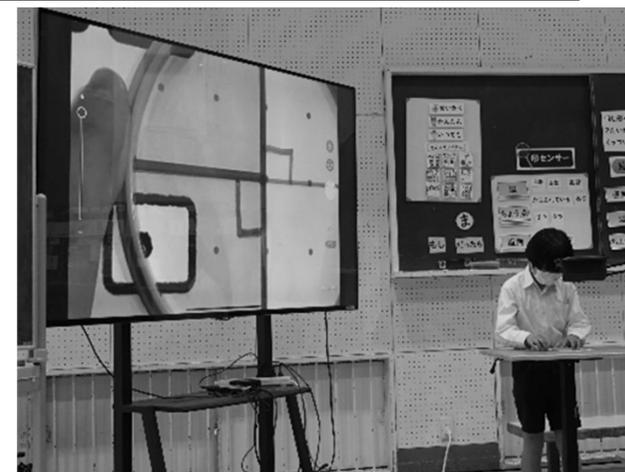
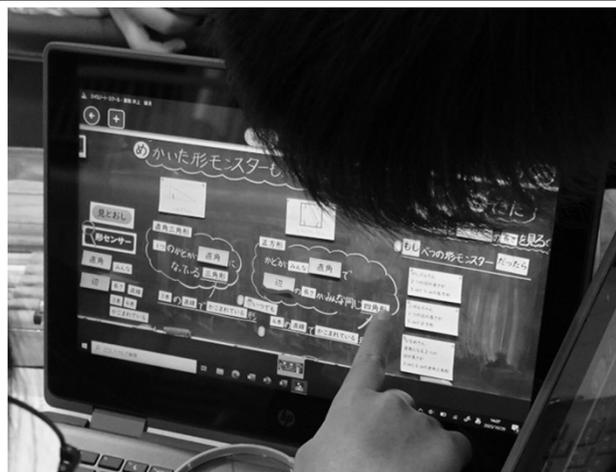
□□・・・目で見ても、耳で聞いてわかる子どもの言動  $\Rightarrow$  行動目標

学級内のすべての子どもたちに、  
「 $\Delta\Delta$ を気づかせること」ができるか？  
という 教師 vs. 子ども の真剣勝負

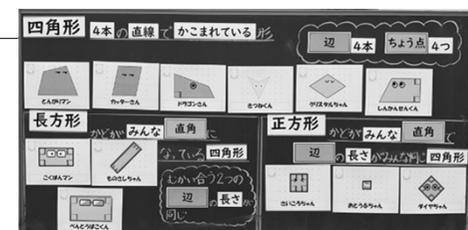
教師が「 $\Delta\Delta$ 」を言ったら、  
教師の負け・・・。

# 過程⑤⑥ 解決の練り上げ(グループ・学級全体)

## 第2学年「三角形と四角形」



同じ図形二つで構成された図形を弁別する活動を通して、  
辺の長さや直角に着目して考えればよいことに気づき、  
図形の定義を根拠にして弁別した理由を演繹的に説明することができる。



# 過程⑤⑥ 解決の練り上げ(グループ・学級全体)

## 第3学年「小数」

1/3 ⑤ 小数の足し算はどのように計算できるか考えよう。

0.6Lの水と0.2Lの水があつた。  
合わせる時、何Lでしょう。

数字  
分数はできた  
整数と同じ

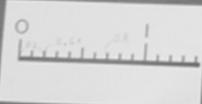
式  $0.6 + 0.2 = 0.8$   
 $0.1 \text{ (6+2)} = 8$   
整数 0.8L

小数→分数  
 $0.6 = \frac{6}{10}$   
 $0.2 = \frac{2}{10}$   
 $\frac{6}{10} + \frac{2}{10} = \frac{8}{10}$   
 $\frac{8}{10} = 0.8$   
6+2 整数  
1/10が8こ

問題発見タイム

- ・小数と分数に変えられる
- ・整数と同じようにできる(0.1が)
- ・整数
- ・小数+分数
- ・一の位が0でない
- ・+0位がある

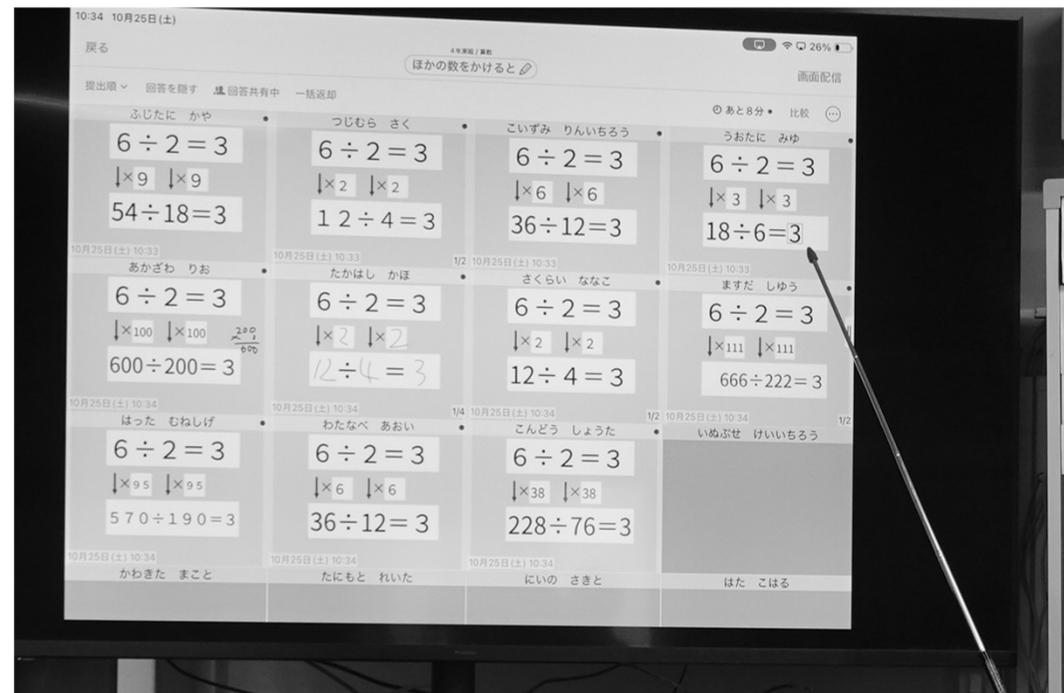
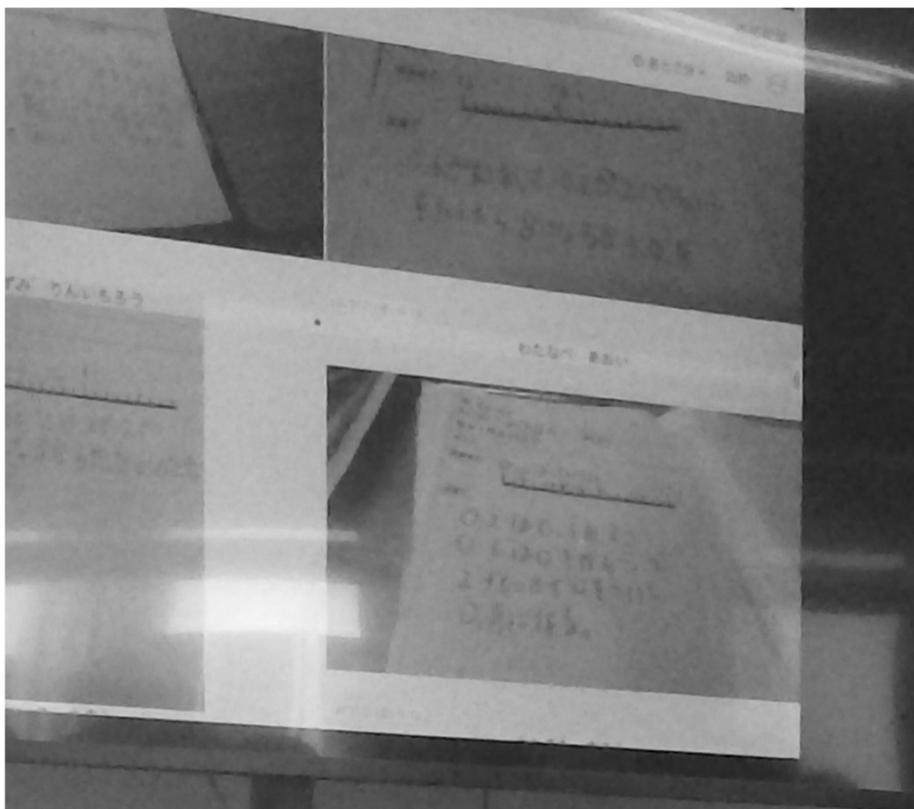
!!  
0.1がいくつで考える。  
小数を分数に。



小数の足し算の仕方について、図、式などを用いて友達と話し合うことを通して、0.1の幾つ分で考えるとよいことに気付き、計算の仕方を説明できる。

# 過程⑤⑥ 解決の練り上げ(グループ・学級全体)

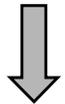
ICT→共有のしやすさ



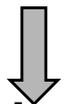
## 過程⑤⑥ 解決の練り上げ(グループ・学級全体)

---

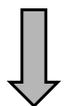
妥当性「どの方法も正しいか」



関連性「それぞれの方法の差異、特徴は何か」

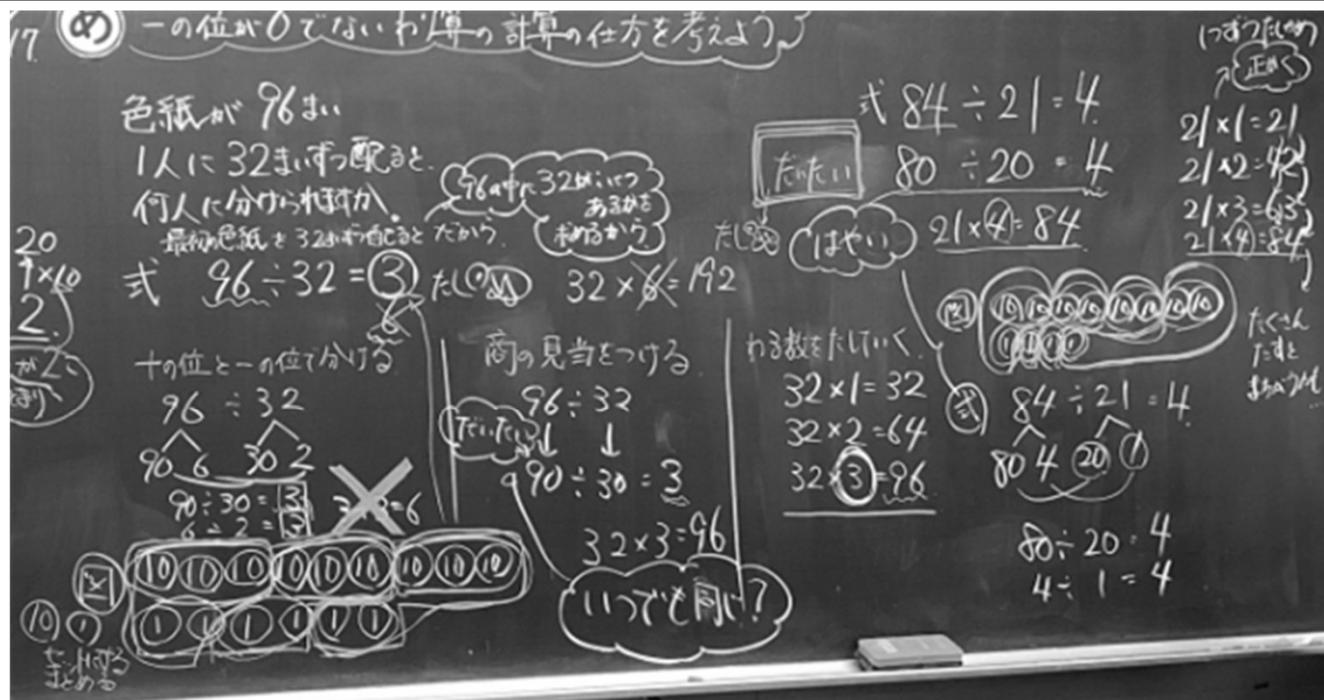


有効性「それぞれの方法のよさ(簡潔性、明確性、効率性、  
↓ 発展性など)は何か」



自己選択「どの方法で取り組みたいか」

# 過程⑤⑥ 解決の練り上げ(グループ・学級全体)



妥当性 → 関連性 → 有効性 → 自己選択

# 過程⑤⑥ 解決の練り上げ(グループ・学級全体)

第2学年「かさ」

かさのたし算!! → め かさの計算は、どうやってするといのかな? ま 同じたんいどうし 計算するとい!!!

IL = 10dL  
1dL = 100mL  
1L = 1000mL

しき + =  
かんた  
1年生の 計算  
す

1L 5dL + 2L = 3L 5dL  
1Lが(1+2)に分  
1dLが(5+0)に分

1L 5dL + 2L = 3L 5dL  
15dL + 20dL = 35dL  
1dLが(15+20)に分

もし べつのりょう だったら

レベル1  
1L 6dL + 3L 4dL = 5L  
4L 10dL 4dL

レベル2  
3L 5dL + 1L 4dL = 2L 1dL  
2L 1dL

レベル3  
2dL + 400mL = 4dL  
4dL

ひき算  

1	5
+2	0
3	5

共通点に着目する。

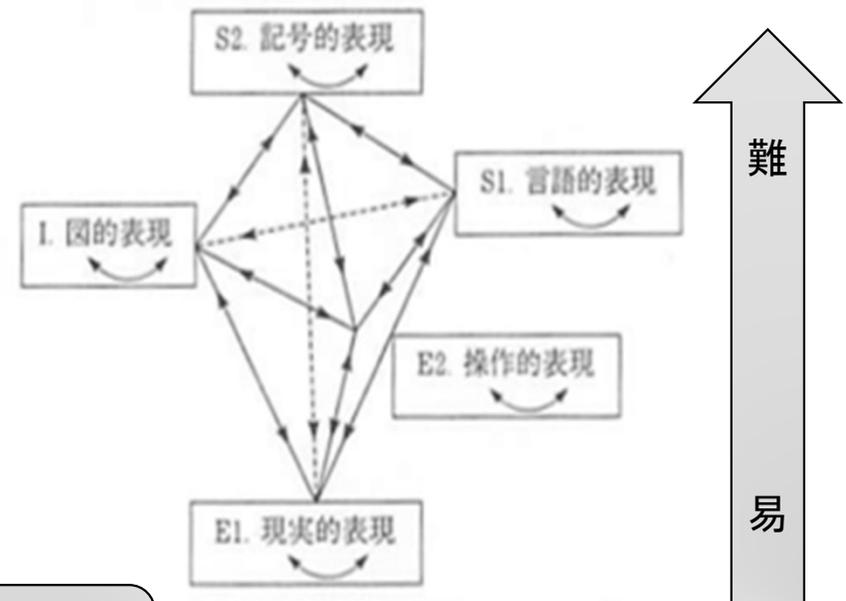
# 算数の表現をつなげると 深くなる

具体的な表現 ⇔ 抽象的な表現

分かりやすい ⇒ 難しい

- その言葉を式で言うと・・・
- ブロックでやったことを図にすると・・・
- 図と式は同じことだよ

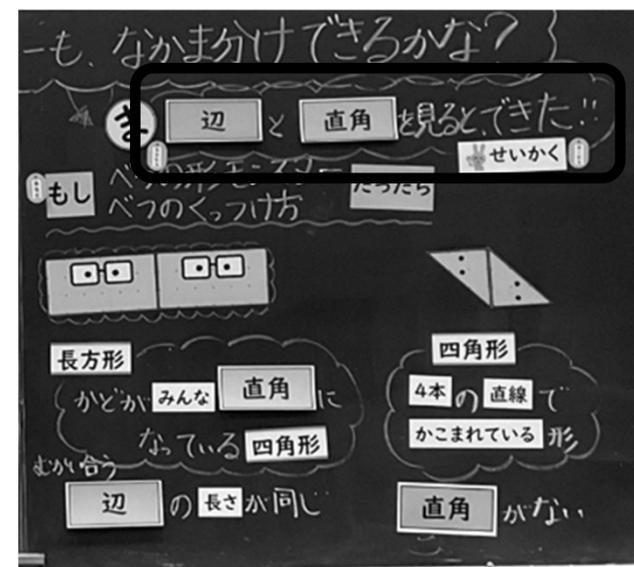
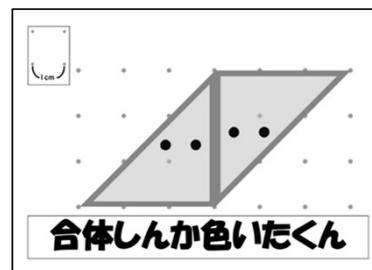
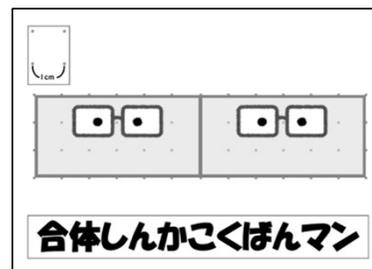
子どもの言葉で板書  
板書上でつなげる





# ⑦ 適用問題

## 第2学年「三角形と四角形」



目的意識をもって、適用問題に取り組む

# ⑦

# 適用問題・活用問題

第2学年「長さ」

め カフとまがっている線のながさは どうやって もとめるのかな？

ちよく線      カフとまがっている

mmとmm      cmとcm      かぞえほうとおなじ

ものさし       $6\text{cm } 5\text{mm}$

ま      おなじたんいどうし      けいさん!!

いっても

もし ①  $0\text{cm } 0\text{mm} + 0\text{cm } 0\text{mm}$  だったら  
 ② ほかの線のかたちだったら...  
 ③  $0\text{cm} + 0\text{cm}$  だったら...  
 ④ ひきざんだったら...

よそう  
 $12\text{cm } 3\text{mm}?$   
 $7\text{cm}?$   
 $6\text{cm } 5\text{mm}?$   
 $7\text{cm } 5\text{mm}?$

ながさを はかる  
 ↓  
 たす  
 しるしをつける

しき  $+$   $4\text{cm } 5\text{mm} + 2\text{cm} = 6\text{cm } 5\text{mm}$   
 1cmが(4+2)かき  $6\text{cm}$

しき  $+$   $45\text{mm} + 20\text{mm} = 65\text{mm}$   
 $65\text{mm} = 6\text{cm } 5\text{mm}$

また!!  
 $1\text{cm} = 10\text{mm}$   
 cmをmmにかえる

①  $4\text{cm } 5\text{mm} + 2\text{cm } 5\text{mm} = 7\text{cm}$   
 ②  $4\text{cm} + 3\text{cm } 7\text{mm} = 7\text{cm}$   
 ③  $3\text{cm} + 5\text{cm} = 8\text{cm}$   
 ④  $4\text{cm } 5\text{mm} - 2\text{cm} = 2\text{cm } 5\text{mm} = 4\text{cm } 7\text{mm}$

発展の方向性を一緒に考える場を設定する。

# ⑦ 適用問題・活用問題

1/31 ⑦ 小数のたし算はどのように計算できるか考えよう。

0.6Lの水と0.2Lの水がある。  
 合わせると、何Lでしょう。

数字  
 分数はできた  
 整数と同じ

式  $0.6 + 0.2 = 0.8$   
 $0.1 \times (6 + 2) = 8$   
 整数 0.8L

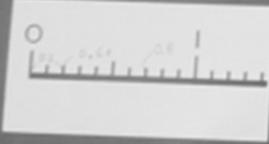
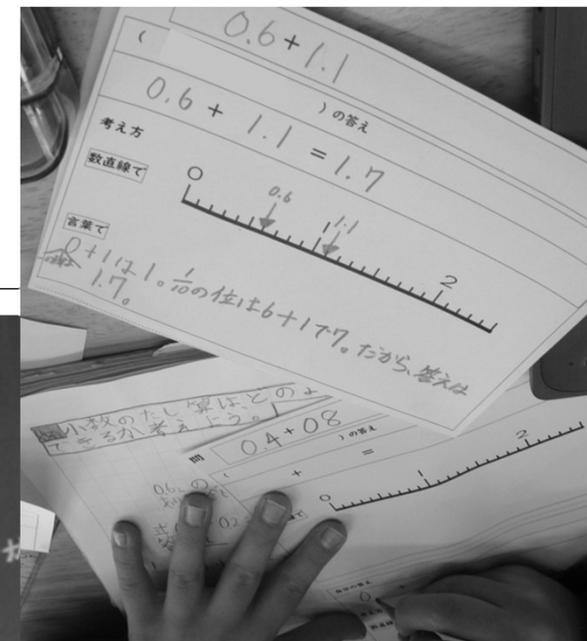
小数 → 分数  
 $0.6 = \frac{6}{10}$   
 $0.2 = \frac{2}{10}$   
 $\frac{6}{10} + \frac{2}{10} = \frac{8}{10}$  6+2 整数  
 $\frac{8}{10} = 0.8$   $\frac{1}{10}$ が8こ

・小数も分数に変えらる  
 ・整数と同じようにできる(0.1が)

問題発見タイム

- ・整数
- ・小数+分数
- ・一の位が0でない
- ・十の位がある

!! 0.1がいくつで考える。  
 小数を分数に。

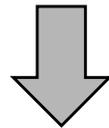



目的意識をもって、問題に取り組む

## ⑧ 振り返り(個人記述)

本時の本質に焦点化し、  
共有化する

振り返りとは、「先ほどまで考えていたこと」について考える 活動  
= 思考の思考(メタ思考)



抽象的な知識 = 算数(科学)の知識

授業終末時に、1時間の学びを思い出すことだけではない。

# ⑧ 振り返り(個人記述)

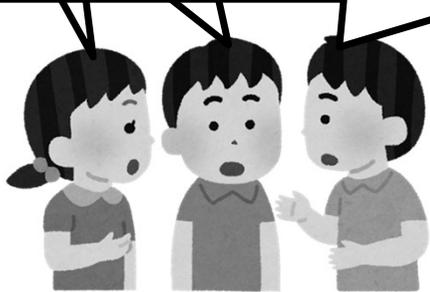
第2学年「三角形と四角形」

せいかく  
かんたん  
いつでも

本当に正確かな？

もっと簡単にできないかな？

いつでも使えるのかな？



## 算数の学び方チェック

考えが「せ・か・い」か どうか考えましたか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{3}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{5}$	$\frac{1}{6}$	$\frac{1}{7}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{9}$	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{15}$
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
$\frac{1}{20}$	$\frac{1}{30}$	$\frac{1}{40}$	$\frac{1}{50}$	$\frac{1}{60}$	$\frac{1}{70}$	$\frac{1}{80}$	$\frac{1}{90}$	$\frac{1}{100}$	$\frac{1}{150}$
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50

「もし~だったら」と考えましたか？

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{3}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{5}$	$\frac{1}{6}$	$\frac{1}{7}$	$\frac{1}{8}$	$\frac{1}{9}$	$\frac{1}{10}$	$\frac{1}{15}$
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
$\frac{1}{20}$	$\frac{1}{30}$	$\frac{1}{40}$	$\frac{1}{50}$	$\frac{1}{60}$	$\frac{1}{70}$	$\frac{1}{80}$	$\frac{1}{90}$	$\frac{1}{100}$	$\frac{1}{150}$
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50



日づけ	ふりかえり (わかったこと・できたこと)	ともだちと かかわって よかったこと
10/27 (火)	形セブサーをわかった 直角と直線を見たら よくわかった	□さん いろいろして わかった
10/29 (水)	直角と直角で直線が きょうもできました もしも、タリカ いしんかしたら 直角と直線	□さん いろいろして わかった
11/4 (火)	直角と直線をみる きょうもせうがく すま( )も 各々合体は	□さん いろいろして わかった
11/15 (水)	もしも本 いろいろして わかった	□さん いろいろして わかった



# いつ・何を・どのように 振り返る？

	いつ	何を	どのように
①	問題の答えが出た後	問題の答えを導いた方法(≠解き方)	グループ対話 学級全体での対話
②	学習終末	本時の学習全体	ノート筆記

なぜその解き方でよいの？Why  
いつその考え方を習った？When

- ① 問題の解き方ではなく、問題を解くときに使用した数学的な考え方をすべての子どもに表現させる対話
- ② 本時の問題の解き方、解くときに使用した数学的な考え方を個別にノートに表記して再構成(まとめと振り返りの一体化)

# ①の振り返り (問題の解き方・答えが定まった後)

T: 三角形の面積はどうやって求めるの？(事実に関する問い:How)

C: 底辺×高さ÷2 です。

T: **なぜ** 底辺×高さ÷2 で求められるの？(概念に関する問い:Why)

グループでちょっと話してみてもいいよ。ヒントは、黒板にあるよね。

C: 同じ三角形を2個使って考えると、平行四辺形になるからかな。

C: ÷2 は、三角形を2個使ったからか！

すべての子どもが概念に関する問いに答える(話す・書く)ことが重要  
答えるためのヒント: 構造化された板書

## ②の振り返り

振り返りを書く視点が必要

1. めあてに対する答え、
2. 考えのよさ
3. 新たな問い

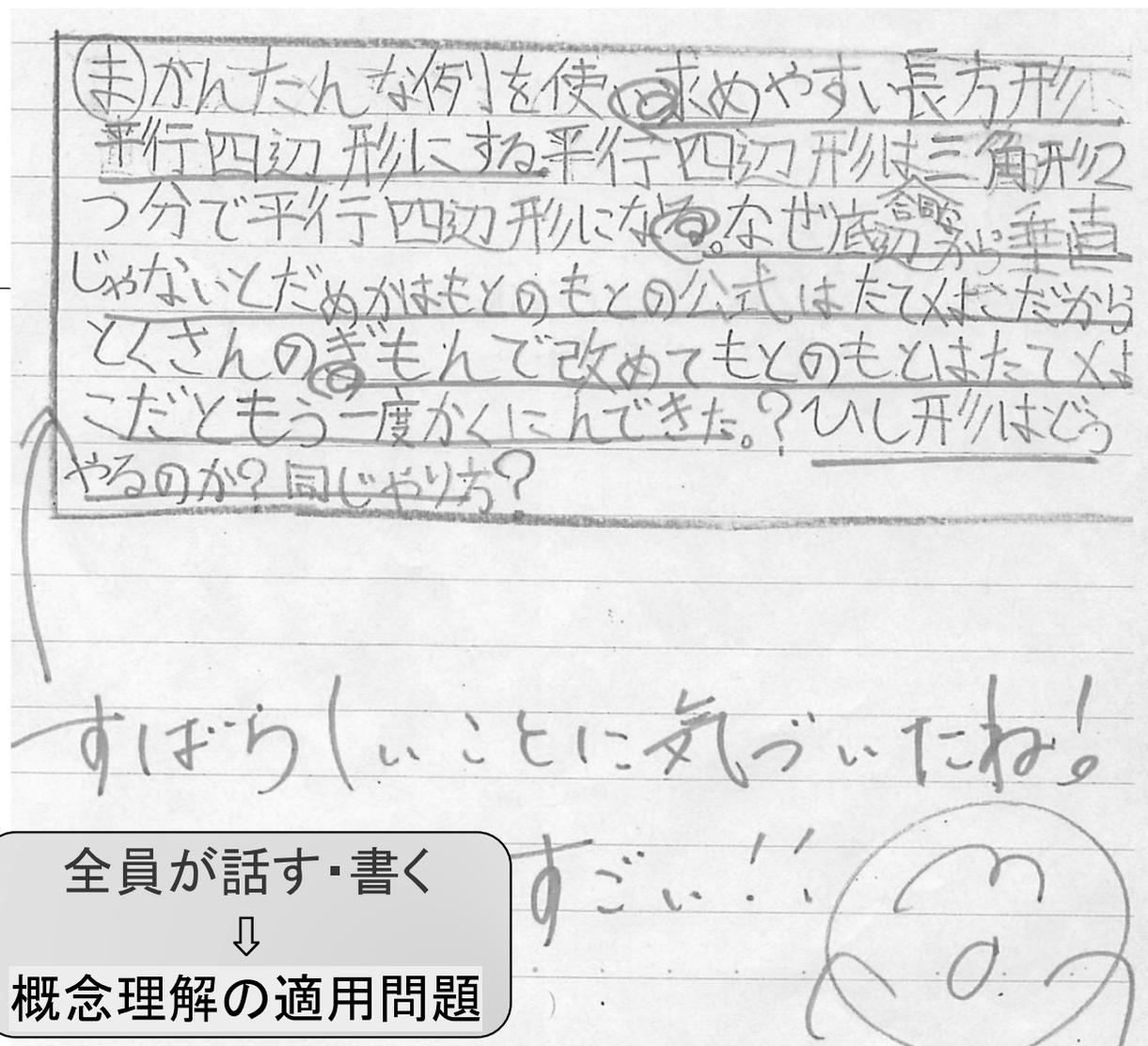


解き方(事実・トピック)と

解き方の正当性(概念・一般化)

の両方の記述が重要

(まとめと振り返りの一体化)



# 算数の授業をレベルアップさせたい！！



## 香算研 入会者募集

香川県算数教育研究会は、香川県の先生方とよりよい算数の授業づくりを目指して、研究を進める団体です。  
ぜひ一緒に学びましょう。

算数好きの子どもを育てたい！  
算数の授業を  
レベルアップしたい！



入会はこちらから

- 年4回の研修会  
・ 附属校の授業参観  
・ 外部講師による講演
- 「子どもと創る」  
算数の授業を  
実現する実践研究
- オンライン  
参加OK！

**公式LINEアカウント**

定例研修会などの案内や  
香算研HPのアップ状況など  
のお知らせを受け取れます。

- このアカウントでは、個人間のやりとりは行われません。個人を特定されることはありませんので、ご安心ください。
- 案内等が不要になれば、いつでも退会可能です。

**香川県算数教育研究会**  
事務局/香川大学教育学部附属高松小学校  
TEL/ 087-861-7108  
MAIL/ kasanzimu@kasanken.com



## 子どもと算数を創る会

毎月第3金曜日19時～算数に関わる勉強会  
参加者：香川大の松島先生、清水先生  
算数に関心のある先生方  
内 容：日々の算数の授業の紹介  
お悩み相談会

参加できる日だけでOK！  
オンライン（Zoom）も可



令和7年度 香川大学教育学部附属坂出小学校 

# 公開授業のお知らせ

訂正版  
6.16

他者と共に自己調整して学ぶ子供を  
育てる授業づくりを研究しています



日時	学年・教科・授業者	日時	学年・教科・授業者
5月26日(月)⑤	3年・国語科・岡根 平	11月 5日(水)⑥	3年・音楽科・高口 佳子
6月 2日(月)⑤	4年・算数科・好井 佑馬	11月10日(月)⑤	5年・国語科・小出 早織
6月 4日(水)⑥	6年・体育科・山口 誉之	11月19日(水)⑥	3年・道徳科・藤川 裕人
6月16日(月)⑤	3年・理科・藤川 裕人	11月26日(水)⑥	5年・家庭科・阿部 聡子
7月7日(月)⑤	4年・音楽科・高口 佳子	12月 1日(月)⑤	4年・体育科・安岐美佐子
6月30日(月)⑤	6年・理科・増田 光一 (大学との合同研究集会)	12月 3日(水)⑥	3年・社会科・網野 未来
7月 2日(水)⑤	1年・国語科・東 泰右	1月19日(月)⑤	1年・図画工作科・平井 千春
7月 9日(水)⑥	5年・家庭科・阿部 聡子	1月21日(水)⑤	2年・生活科・河口 美穂
10月15日(水)⑥	5年・社会科・半澤 友博	1月26日(月)⑤	5年・社会科・半澤 友博
10月20日(月)⑤	2年・生活科・河口 美穂	1月28日(水)⑥	6年・体育科・山口 誉之
10月27日(月)⑤	1年・図画工作科・平井 千春	2月 9日(月)⑤	2年・道徳科・井下 修一
10月29日(水)⑤	2年・算数科・井下 修一 (坂校校長会 予定)		

- ⑤ 授業 13:40~14:25  
討議 15:00~16:20  
⑥ 授業 14:50~15:35  
討議 16:00~17:20  
(日程は変更になることがあります。)

昨年度は、65名の先生方にご参加いただきました。

授業参観・討議にご参加  
いただけます。  
授業参観のみも可能です。  
学校単位での合同研修会も  
大歓迎です。

お気軽にお問い合わせください。(窓口：教頭 毛利 二実子)  
TEL : 0877-46-2692 E-mail : sakashokyoto-1@kagawa-u.ac.jp  
(エル)

附属坂出小学校  
公開授業のお知らせ

FUZOKUSAKAIDE

# 第1回 附坂小 わくわく ワークショップ



羨敵な  
いさつって



# 入学式

元気な声で「はい！」  
と返事ができました

# お花見



教師と子供、子供同士を  
“つなぐ”教師の平立

4.11金  
オンライン併用  
退席OK

第一部 (16:30-17:00)  
学級経営について

第二部 (17:10-17:30)  
運動会について

主は学年初めどうしてるの？  
！の表現ってどう考えるの？  
士がつながる学級を作りたい！  
先生！一緒に話しましょう！

